

4/22 巨大な交通事故防止ポスターを制作



▲約2週間かけて制作した北条中学校の美術部員。

北条中学校の美術部員が、加西警察署の助言を得ながら長さ5m、高さ1.5mの交通事故防止ポスターを制作し、同署に贈りました。交通事故の報道が増えていることもあり、ポスターには子どもから高齢者までの各世代に呼びかける絵が描かれています。

ポスターは、7月11日から25日の間、アスティアかさいで展示されます。

5/28 中高生が看護師体験



▲看護師の指導を受けながら足浴に取り組む生徒（左）。

加西病院は、看護についての理解や関心を高めてもらうことを目的に「ふれあい看護体験」&「ふれあいコンサート」を行いました。

中高生15人が、入院患者の足浴や洗髪を体験。森本ゆきさん（善防中3年）は「患者さんに靴下を履かせるのが難しかったけれど、体験することで看護師になりたい気持ちが強くなった」と話しました。

5/28 トランポ・ロビックスに挑戦



▲ポーズを決める児童ら。

富合小学校の児童26人が、ミニトランポリンを使って歩いたり、弾んだりする「トランポ・ロビックス」に挑戦しました。

児童は、県トランポ・ロビックス協会の会員と一緒に、音楽に合わせて踊ったり、跳んだりして、バランス感覚を養いました。西村優花さん（6年）は「全身運動にもなり、またチャレンジしたい」と話していました。

6/2 職人から学ぶ「だし巻き卵作り」



▲辻さん（左から2人目）から巻き方を教わる児童。

泉小学校の6年生37人が、家庭科の授業で、地元殿原町の板前・辻賛訓さんから「だし巻き卵の作り方」を教わりました。

「最初から丁寧に巻くことで形が良くなる」などと説明を受け、辻さんの実演後、班ごとに作り食べ比べをしました。藤原月姫乃さんは「家で練習して、もっとおいしいだし巻き卵を作りたい」と話していました。

播磨国風土記の里 加西

事業の取り組み等を紹介



かさい観光NAVI

遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載



子育て、定住支援情報

子育て・定住支援情報サイト



かさい子育てNAVI

子育てイベントや子育ての悩みを解決



6/5 団員735人が訓練の成果を披露



▲小型動力ポンプの部で操法を披露する都染部の団員。

消防活動に必要な団員の連携や災害時に即応できる技術を習得することを目的に「第30回加西市消防操法大会」が、市民グラウンドで行われました。

団員735人が参加し、「消防ポンプ自動車の部」（国正班が優勝）と「小型動力ポンプの部」（日吉部が優勝）で日頃の訓練を競いました。優勝チームは、北播磨地区消防操法大会（7月10日）に出場します。

6/5 ちょっとおもしろい播州弁検定



▲独特な表現「播州弁」の問題を解く参加者。

図書館が、長い歴史の中で地域に息づく播州の方言に着目し、郷土愛を育もうと、「ちょっとおもしろい播州弁検定」を行いました。

加西市を中心に、神戸や大阪、京都などから、15～86歳の89人が受験。「ごうわく（腹が立つ）」などひととき個性を放つ播州弁100問を3者択一で出題し、7割以上正解した85人が合格しました。

6/10 ふるさとの自然や生き物を学ぶ



▲6月10日は富合・日吉・宇仁小学校の児童が観察。

市内の小学生が環境体験学習として、6月3日から7月5日まで順次「あびき湿原」を訪れ、ふるさとの自然や生き物について学びました。

児童は、あびき湿原保存会のメンバーから命の大切さを教わり、希少動植物を観察。日吉小3年の谷川堯さんは「ハッチョウトンボやヒメタイコウチなどの生物を知ることができてよかった」と話していました。

6/13 伊東電機野球部が西日本大会で準優勝



▲チーム一丸で準優勝したメンバー。

加西市は、6月10日から13日に沖縄県で行われた「第38回西日本大会（2部）」に出場した伊東電機株式会社の軟式野球部に賞賜金を贈呈しました。

打撃力を生かし勝ち進み、決勝では惜しくも株式会社ユーセイホールディングス（徳島県）に敗れました。新延康之監督は「サヨナラ勝ちもあり勢いに乗っていた。今後も努力していきたい」と話しました。

加西市のことなら

ホームページがより見やすくなりました。スマートフォンにも対応

加西市ホームページ

加西市

検索

テレビで緊急情報「まちなび」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」



災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信

